



# ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町21番地

鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内

TEL：0857(22)0578 / FAX：0857(22)0593

URL：http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治



## 2021(令和3)年度 第5回鳥取県人権教育実践交流会

2月5日(土)、県民ふれあい会館で「2021年度鳥取県人権教育実践交流会」を開催しました。

交流会では、(公社)全国人権教育研究協議会副代表理事福田和博先生に「全人教の取組」と題して講演をしていただきました。



本題に入る前に、何かのテーマを元に協議や研究を継続して積み上げることが重要であり、今日のような小さな会でいいので、途切れることなく開催してほしいと言われました。

次に、人権教育の原点として、戦前の融和教育・融和政策が取り組まれた時代背景や趣旨を、「橋寄繁蔵排斥事件」など具体的な例を交えてお話していただきました。そして、この取組の中に、私たちが大切にしなければならないことと、警戒しなければならないことを示唆いただきました。

次に、全同教の成立のきっかけになった「和歌山県議差別事件」と「広島吉和中学校事件」の概要と、現在に残していかなばならない教訓を紹介していただきました。特に「差別をしようと思っていなくても、差別することがある。」「差別発言に至るまでの生活経験だとか地域の様子がリンクして差別発言がある。その差別発言を聞いた人も何らかのつながりを持って聞き、言葉は少し悪いが、差別効果みたいなものがそこに生じる。」「(様々な)実態や現実について、『なぜ自分は〇〇だったのか』などと、自分に対する問いを自らに発することができるようになってほしい。」「差別は社会的なものであるが、現実の現れ方は一人一人違い、そのとらえ方も違う」と、述べられました。

さらに、教科書無償化闘争のきっかけになった「今日もあの机にあの子がいない」というレポート、全同教(現：全人教)のテーマとなっている「差別の現実から深く学ぶ」とは、同和教育人権教育の原点である「識字」についても、具体例を交えて分かりやすく講演頂きました。

そして、講演の後は、参加者皆で意見交換をして、交流会を終えました。コロナ禍により参加者を限定した形での開催でしたが、この講演内容は、「2021年度人権問題学習その実践 No.30」に掲載しています。

なお、「県人教だより ふれあい177号」では、福田先生の演題を「全人教の取組」と「隣保館の原点」とおしらせしていましたが、「全人教の取組」のみとなりました。お話を聞けなかった「隣保館の原点」という内容のお話は、是非、後日拝聴したいと思いました。



## 2021(令和3)年度 市町村人権教育行政担当者会

本来なら、この「市町村人権教育行政担当者会」は、倉吉体育文化会館を会場にして対面での開催を予定していましたが、コロナ禍によりリモート開催(2022.2.22)とさせていただきます。

鳥取県教育委員会事務局人権教育課 寺谷孝志係長様の来賓挨拶のあと、北栄町人権教育・啓発推進協議会 北栄町生涯学習課 廣芳幸美さんに「北栄町の人権教育・啓発推進協議会の取組」を発表していただきました。

寺谷係長様は、スーツではなく、「ピンクシャツデー運動※1」のジャージを着て挨拶をされました。まず、各市町村の皆様に対して、コロナ禍による状況下でも創意工夫して取り組まれたことへの感謝の思いを述べられました。そして、県教育委員会が社会教育に係る大きな事業として取り組んでいる「人権尊重のまちづくり推進支援事業」と「豊かな人権文化を築く学校づくり事業」の紹介、鳥取県同和対策協議会が部落差別解消法の具体化の取組として行っている琴浦町と日南町の小地域懇談会の取組を人権教育課のホームページに掲載していることの紹介がありました。

次に、実践報告では、北栄町人権教育・啓発推進協議会の概要(沿革・目的・組織・事業・会員構成)の紹介の後、2021年度の主な事業として、「北栄町人権フェスティバル2021」「人権週間で啓発活動」「北栄町シトラスリボンプロジェクト※2」等の取組を報告していただきました。



どの事業も、行政・地域・学校(教職員、子ども、保護者)がつながり、それぞれが主体的に人権課題の解決に向けて活動されており、北栄町の人権文化が豊かに広がっている様子がみられる報告でした。

最後に、事務局から東部地域の担当者に向けて「第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(鳥取大会)」について、研究集会開催に向けての主な日程とお願いをさせていただきました。

※1)ピンクシャツデー運動:ピンクシャツデーキャンペーンはカナダ生まれのいじめ反対運動で、実話から誕生しました。ピンクシャツデーには、ピンクシャツを着たりピンク色のものを身につけたりすることで「いじめ反対」の意思表示をします。子どもから大人まで誰もが参加することのできるシンプルなポジティブキャンペーンです。現在は約180の国や地域に広がり、世界的キャンペーンの一つとなっています。鳥取県もこの運動に教育委員会が中心になって取り組まれています。

※2)シトラスリボンプロジェクト:コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。

北栄町では、大栄中学校と連携して取り組まれ、その詳しい様子は「2021年度人権問題学習その実践 No.30」に北栄町立大栄中学校「人権教育の取組」として掲載しています。

### 2021年度人権問題学習その実践 No.30

第72回全国人権・同和教育研究大会報告(紙上報告)

◇鳥取県立鳥取中央育英高等学校 岡垣 祐二さん

◇米子市五千石地区 人権・同和教育推進協議会 湯原 剛文 さん

実践の深まりをめざして

◇境港市立あがりみち保育園 松井 尚美 さん・高濱 七海 さん

◇北栄町立大栄中学校

◇鳥取県立八頭高等学校

第5回鳥取県人権教育実践交流会(講演)

◇(公社)全国人権教育研究協議会 副代表理事 福田 和博 さん

# おしらせ

## ■次年度（2022年度）各種集会・研究会について

### ■全国人権教育研究協議会主催

|                           |            |        |        |
|---------------------------|------------|--------|--------|
| 第73回全国人権・同和教育研究大会(奈良大会)※1 | 11月26日(土)～ | 27日(日) | 奈良市他   |
| 教育課題別研究会～創る つながる きり拓く～    | 調整中        |        | 高知県    |
| 「豊かな人権教育の創造」実践交流会※2       | 8月4日(木)    |        | 島根県出雲市 |

### ■全国人権教育協議会後援等

|                          |            |         |          |
|--------------------------|------------|---------|----------|
| 部落解放第65回全国女性集会           | 5月14日(土)～  | 15日(日)  | 熊本県熊本市   |
| 第47回部落解放・人権西日本夏期講座       | 6月9日(木)～   | 10日(金)  | 沖縄県那覇市   |
| 第69回四国地区人権教育研究大会         | 6月30日(木)～  | 7月1日(金) | 香川県      |
| 第40回阪奈地区人権・同和教育研究交流会     | 調整中        |         | 未定       |
| 第13回中国ブロック人権・同和教育研究集会※2  | 8月4日(木)    |         | 島根県出雲市   |
| 第48回九州地区人権・同和教育夏期講座      | 8月17日(水)～  | 18日(木)  | 長崎県長崎市   |
| 第53回部落解放・人権夏期講座(高野山夏期講座) | 8月22日(月)～  | 23日(火)  | 和歌山県高野町  |
| 第41回全国在日外国人教育研究集会        | 8月に実施予定    |         | 鳥取県      |
| 部落解放第55回全国集会             | 11月15日(火)～ | 16日(水)  | 鳥取県米子市   |
| 部落解放第54回東日本研究集会          | 調整中        |         | 調整中      |
| 部落解放第66回全国青年集会           | 調整中        |         | 徳島県徳島市   |
| 部落解放第54回全国高校生集会          | 調整中        |         | 徳島県徳島市   |
| 第43回全国人権保育研究集会           | 2月4日(土)～   | 5日(日)   | 広島県福山市   |
| 第37回人権啓発研究集会             | 1月19日(木)～  | 20日(金)  | 埼玉県さいたま市 |

●調整中または未定については、分かり次第、県人教だよりでお知らせします。

### 第73回全人教(奈良大会)は例年とは異なる内容等があります

- 全体会を分散型で(4つのサテライト会場)開催
- 1日目午前の開会全体会と並行して地元特別企画の実施
  - ・ 地元特別企画
    - 《学校教育関係》……小中学校での人権教育公開学習
    - 《社会教育・啓発関係》…住民対象にした地域別懇談会の公開学習会
- 参加申込の時期が、例年よりかなり早まる予定

詳しくは奈良県人権教育研究会 HP 内に掲載されています。  
【<http://www.nazinkyo.com/narataikai/img/file2.pdf>】

※1) 県人教だより第176号で第73回全人教大会の開催県と期日をお知らせしましたが、左の通り例年と異なる内容等があることが分かりましたのでお知らせいたします。

また、1日目の午後から、奈良市内他で、4分科会21分散会と特別分科会で、実践交流が行われます。

※2) 「豊かな人権教育の創造」実践交流会は、「第13回中国ブロック人権・同和教育研究集会」と兼ねて開催されます。

## 第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(鳥取大会)

～人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう～



と き 2022(令和4)年8月3日(水)  
 全体会場 とりぎん文化会館 梨花ホール  
 分科会場 とりぎん文化会館、鳥取市民会館、鳥取県立図書館  
 鳥取県立博物館、鳥取市福祉文化会館、鳥取県庁講堂

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、変更になる場合があります。



2022(令和4)年3月3日、全国水平社創立100周年を迎えます。1922(大正11)年3月3日、京都の岡崎公会堂に集まり、人間としての平等を願い、自分たちの力で差別からの解放をめざす運動を進める「全国水平社」が創立されました。この創立大会で満場一致で採択されたのは、日本最初の人権宣言といわれる「水平社宣言」です。

「水平」には、「差がないこと」「人間のつくる尺度では決してはかることができない絶対的な平等」などの意味が込められています。憐れみや同情ではなく、人間を尊敬することによって、仲間とともに自ら立ち上がり、差別のない社会をつくろうとする運動が

始められました。

また、「水平社宣言綱領」には、「吾等は人間性の原理に覚醒し人類最高の完成に向かって突進す」という決意も述べられており、単に部落差別の解消だけではなく、すべての人が、あらゆる差別を受けることなく、人間らしく暮らしていける社会の実現をめざしました。

この水平社宣言から100年後の今は、宣言が目指したあらゆる差別を許さず、誰もが一人の人間として尊重される社会になっているのでしょうか。残念ながら、同和問題をはじめ様々な人権問題があり、近年は、インターネットや SNS 上での誹謗中傷、ヘイトスピーチ、性のあり方についての差別や偏見、新型コロナに関する人権侵害など、新たな人権問題も発生しています。

全国水平社創立100周年を迎えるにあたり、もう一度、当時の人々の「人類最高の完成に向かって突進す」という熱い思いを私たち一人一人が省み、真に、人権が尊重される豊かな社会をつくるためにはどうすればよいか、考えていくことが大切だと思います。。

ところで、全国水平社創立100周年を記念した企画の一つに、島崎藤村が部落差別をテーマにした小説『破戒』が60年ぶりに映画化され、7月8日全国で公開されます。主演は俳優の間宮祥太郎さん。脚本を手掛けた加藤正人さんは「差別が残る現代にも通じる作品にしたいという思いで書いた」と述べています。

ちなみに、この作品のモデルは大江礒吉といわれています。大江は差別とたたかいながら教育者として見事な生涯を生き抜きましたが34歳の若さで亡くなりました。彼の教育者としての16年間の内6年間、鳥取師範学校の教師として先駆的教育を実践したそうです。彼の生涯については、1998(平成10)年に開催された第24回部落解放鳥取県研究集会で、元兵庫県立柏原高校教諭荒木謙さんが『破戒』のモデル 大江礒吉の生涯～彼の生き方から学ぶもの～と題して講演されています。そして、荒木さんは今でも、大江の生涯をまとめた著書を携えて全国各地で講演活動を展開しておられるそうです。

## 編集後記



先月22日、「市町村人権教育行政担当者会」では、挨拶や実践報告を事前に録画し、その動画を、ビデオ会議システム Zoom を使って放映しました。しかしながら、参加者から「音声聞き取りにくかった。」「画像と音声がずれていた。」というご意見をいただきました。コロナ禍により Web 会議が頻繁に行われ、誰でも簡単にできるといわれますが、中々うまくいかないものです。

さて、今年の夏に始まった新型コロナ感染症第5波が、秋ごろには急速に収束の方向になったので、安堵したのも束の間、年明け以降、オミクロン株による感染が拡がり、今や「第6波」の渦中にあります。そして、全く収束が見えぬまま3年目に入ります。一刻も早くコロナが収束することを願うばかりです。

このような状況下、県人教では、「第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」に、皆さんが安心して参加でき、実践の交流や討議をしていただくにはどうすればいいかと、相変わらず頭を悩ませています。